

紅葉台活用に関するサウンディング型市場調査 結果概要

令和7年6月30日
鳴沢エリア振興検討委員会

1. 調査の目的

鳴沢エリア振興検討委員会(※)では、鳴沢エリアの高付加価値化につなげることを目的に、山梨県南都留郡鳴沢村に位置する紅葉台を活用した地域振興策を検討しています。

今回、上記振興策を検討するにあたって、広く民間事業者等の意見等を聞くためサウンディング型市場調査を実施しました。

※ 山梨県南都留郡鳴沢村を中心とした鳴沢エリアの振興に向け、地域団体、地域事業者、地方公共団体等が連携・協力し、集合知を発揮することにより、鳴沢エリアの高付加価値化につなげることを目的とした組織。

2. 調査概要

実施要項の公表	令和 7 年4月8日(火)
サウンディング参加申込期限	令和 7 年5月9日(金)
サウンディング実施日時及び場所	令和 7 年5月29日(木)15時15分～16時00分 山梨県庁内会議室
サウンディング参加者	1事業者

3. サウンディング項目

紅葉台活用に関するサウンディング型市場調査 実施要項 4. サウンディングの内容
(2)サウンディング項目による

4. 事業者からの提案等

(1)提案に向けての意見

- ・鳴沢エリアは、都心からもアクセスが良く人気の富士山周辺エリアで富士箱根伊豆国立公園内に位置しており、観光客で混雑しているスポットから少し離れているからこそ得られる、そのままの自然は魅力の一つである。
- ・中でも紅葉台レストハウスは、東海自然歩道沿いに位置し、同じ場所から 360 度違った眺望や四季折々の自然を愉しむに適した立地であり、富士パノラマライン(国道139号)からのアクセス、連携を強化することで、観光の目的地としてより多くの方のアプローチが可能である。
- ・紅葉台レストハウスは、展望台からの眺望目当てに観光客が訪れる穴場スポットであり、富士山のみならず、西湖、本栖湖、青木ヶ原樹海を一気に望むことができる素晴らしいロケーションである。

(2)提案内容

- ・宿泊事業、索道事業、日帰りを想定した集客事業を3本柱とする事業スキームとして提案。
- ・富士パノラマライン沿いにベースエリアを設け、紅葉台、東海自然歩道と繋げることで、鳴沢エリア全体の活性化を図る。
- ・紅葉台には展望デッキに加えて宿泊施設を設け、ベースエリアから紅葉台に索道(ロープウェイ等)を設置する。
- ・ベースエリアには、商業系集客施設を設け、ロープウェイで紅葉台まで誘導する流れを作る。
- ・魅力ある集客施設を作ることで、エリア全体への入込客数が増加し、鳴沢エリアの活性化、地域との相乗効果が期待される。
- ・国立公園内で宿泊施設を運営するにあたり、規模感に配慮し、自然に溶け込むデザインにすること、運営面においても、地域や環境のことを考えた活動を行う。

5. 今後の予定

今回の調査を踏まえ、地域振興策の実施に向けて検討していきます。